

NEWSLETTER

比較経済体制学会

No.74 December 2025

Contents

- ・ 比較経済体制学会 2026 年度第 66 回全国大会開催計画および自由論題報告募集のご案内
- ・ 学会機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・ 第 13 回スラヴ・ユーラシア研究東アジア大会の報告募集について
- ・ 比較経済体制学会 2026 年度若手会員旅費助成の募集について
- ・ 幹事会報告
- ・ 事務局からのお知らせ（サマースクールへの講師派遣・会員情報の変更について・会員情報）
- ・ 事務局日より

比較経済体制学会 2026 年度第 66 回全国大会開催計画 および自由論題報告募集のご案内

比較経済体制学会 2026 年度全国大会は、2026 年 6 月 27 日（土）と 6 月 28 日（日）の二日間にわたって、北九州市立大学（北九州市小倉南区）で開催される予定です。本大会第一日目に行う共通論題の概要が決まりましたのでお知らせします。

.....
共通論題：流動する国際情勢下の東アジア

午前の部：基調講演会

講演者：戴二彪（アジア成長研究所）、三重野文晴（京都大学）（五十音順、敬称略）

午後の部：パネル討論会

パネリスト：新井洋史（新潟県立大学）、戴二彪（アジア成長研究所）、中川雅彦（アジア経済研究所）、
三重野文晴（京都大学）、吉岡英美（熊本大学）、渡邊真理子（学習院大学）（五十音順、敬称略）

戦後の世界秩序を支えてきたパクス・アメリカナ体制が揺らぎ始め、国際情勢は急激に流動化しています。同時に、世界経済の重心は、欧米からアジアへと、徐々にしかし確実にシフトしています。このような歴史的潮流に対して、我が国を取り囲む東アジアの国々は、いかなる適応行動を見せているのでしょうか？2026 年度全国大会で企画される共通論題「流動する国際情勢下の東アジア」では、東南アジア、中国、韓国、北朝鮮及びロシア極東に精通した学会員・非学会員の専門家をお招きして、東アジア地域及び各国の社会経済情勢を徹底討論すると共に、パクス・アメリカナ体制後のアジア新時代を大胆に予想します。なお、本共通論題は、開催校と当学会共催の公開シンポジウムとして開催されます。

自由論題枠（大会第二日目）での報告者とパネルセッションを募集します。個別報告やパネルセッションを希望する会員は、以下の事項を大会プログラム委員会へお知らせ下さい。

応募締切は 2026 年 3 月 31 日（金）午後 5 時です。

- (1) 氏名・所属・連絡先
- (2) 報告論題又はパネルセッション企画
- (3) 報告内容又はパネルセッションの骨子 400～600 字程度)

自由論題応募先：白石麻保（プログラム委員会）

Email: mshira [at] kitakyu-u.ac.jp ([at] を@に変更してください)

会場の都合等により、ご希望に沿えない場合もあります。あらかじめご了解ください。なお、パネルセッションをご希望の場合は、できる限り事前にプログラム委員会へご相談ください。

大会プログラム委員長：白石麻保（北九州市立大学）

大会プログラム委員：岩崎一郎（沖縄大学）、馬欣欣（法政大学）、柳学洙（北九州市立大学）

大会組織委員長：白石麻保（北九州市立大学）

大会組織委員：小出秀雄（西南学院大学）、志田仁完（西南学院大学）、武田友加（九州大学）、柳学洙（北九州市立大学）

（大会プログラム委員会）

2026 年度第 66 回全国大会の会場となる北九州市立大学北方キャンパス



住所：福岡県北九州市小倉南区北方 4 丁目 2-1（最寄り駅：北九州モノレール競馬場前駅）

北九州・小倉観光名所

1. 小倉城



小倉のシンボル。美しい天守閣と春の桜が魅力。歴史を感じるスポット。

2. 皿倉山



「新日本三大夜景」の一つ。
ケーブルカーで山頂からの絶景を。

3. 旦過市場



「北九州の台所」。新鮮な食材が並び、活気あふれる市場。

4. 門司港レトロ



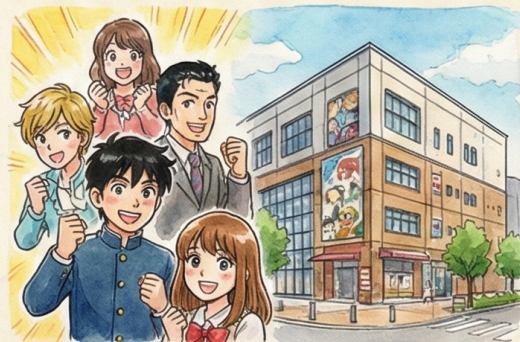
大正レトロな建物が残る港町。
夜景も美しくロマンチック。

5. リバーウォーク北九州



紫川沿いの複合施設。
ショッピング、グルメ、映画館が集まる。

6. 北九州市漫画ミュージアム



漫画の魅力を発信するミュージアム。
約5万冊の漫画が読める。

学会機関誌編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリー一制投稿誌として、年2回発行しています。

第62巻に引き続き、第63巻は、志田仁完（西南学院大学、編集委員長）、鈴木拓（帝京大学、副編集委員長）、小林拓磨（松山大学）、三並康平（帝京大学）、山田大地（広島大学）、横川和穂（神奈川大学）の6名から構成される編集委員会の下で、編集を担当しています。

現在、学会機関誌『比較経済研究』第63巻1号の近日の刊行に向けて準備しております。収録予定の内容は以下の通りです。ご寄稿いただいた先生方には、ご尽力賜りましたことに心より御礼申し上げます。

特集：ウクライナ侵攻とユーラシア地域の通貨・金融Ⅰ

松澤祐介「巻頭言」

土田陽介「ドル離れと世界経済」

岡峯久実子「中国の金融「市場化」と人民元「国際化」の行方—現状分析と将来展望」

松澤祐介「戦時下ウクライナの金融政策・金融システム」

書評

中兼和津次 *Innovation Promotion Policies and Institutional Reform in China* (Kai Kajitani ed., 2024)

鈴木拓『良い政府の政治経済学』（ティモシー・ベズリー著、2024）

新井洋史『ロシア北極域経済の変動—サハ共和国の資源・環境・社会』（田畑伸一郎編著、2025）

小林拓磨『中国の産業政策—主導権獲得への模索』（丸川知雄著、2025）

Abstracts

比較経済体制学会 2025 年度全国大会プログラム

学会機関誌投稿・執筆要綱

当機関誌では、論文（400字×55枚以内）、研究ノート（400字×45枚以内）、書評（400字×17枚以内）の投稿原稿を随時募集しています。掲載ご希望の会員は、編集委員会アドレス（jaces.edit[at]gmail.com（[at]を@に変更してください））まで原稿をご提出ください。

投稿原稿の〆切として、63巻2号（2026年6月刊行予定）は2026年2月末を、64巻1号（2027年1月刊行予定）は2026年8月末を予定しております。機関誌の企画及び査読の都合上、上記〆切直近の刊行号に掲載されない場合があります。あらかじめご了承ください。その他に不明な点があれば、編集委員会へお気軽にご相談ください。

なお、書評の対象は、会員による著作に限定せず、また日本語書籍に限定せずに広く募集しています。優れた研究成果の情報共有にご協力ください。また、会員の皆様が新著（書籍）を公刊される際には、候補著書として検討させていただきますので、上記編集委員会アドレスまでご一報いただけますようお願い致します。

当学会に連続2年度以上在籍している若手研究者（院生会員及び年齢40歳以下の正会員）が単独執筆した機関誌掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、特に奮ってご投稿ください。

『比較経済研究』は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞ御活用ください。電子版トップページのアドレスは、以下の通りです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>

（学会機関誌編集委員会）

第13回スラブ・ユーラシア研究東アジア大会の報告募集について

2026年5月29-31日、九州大学及び福岡国際会議場にて「第13回スラブ・ユーラシア研究東アジア大会」が開催されることが決定し、報告募集が行われています。報告申し込みの期日は2026年2月10日です。報告を検討される方は、< <https://sites.google.com/view/eac2026fukuoka/home> >で詳細をご確認ください。

(事務局)

比較経済体制学会 2026 年度若手会員旅費助成の募集について

「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」< <https://www.jacesweb.com/award/#toc2> >に基づき、2026年度若手会員旅費助成を募集します。希望者は学会事務局に事前連絡の上、所定の申請用紙を大会が開催される1ヶ月前までに提出してください。

(事務局)

幹事会報告

・11月27日開催分（持ち回り）

1. 来年度大会組織委員会の編成：大会組織委員長である白石麻保会員（北九州市立大学）からの提案に基づき、2026年度大会組織委員を、小出秀雄会員（西南学院大学）、志田仁完会員（西南学院大学）、武田友加会員（九州大学）、柳学洙会員（北九州市立大学）に委嘱することが了承されました。
2. 来年度大会プログラム委員会の編成：白石麻保会員（北九州市立大学）をプログラム委員長とし、プログラム委員を岩崎一郎会員（沖縄大学）、馬欣欣会員（一橋大学）、柳学洙会員（北九州市立大学）に委嘱することが了承されました。
3. ロシア政府の無期限入国禁止措置について：2025年11月11日付でロシア外務省が発表した本学会代表幹事を含む日本人研究者らに対する無期限入国禁止措置を受け、学会としてのあるべき対応について審議を行いました。慎重な議論の結果、本議案は取り下げられました。
4. JCREES サマースクールに関する情報の共有：JCREES 幹事会より、サマースクールの運営に関するアイデアが求められ、本学会としてその運営形態に関する情報の共有が行われました。

事務局からのお知らせ（サマースクールへの講師派遣）

当学会は、安達祐子会員（上智大学）を、JCREES 主催の「スラブ・ユーラシア研究サマースクール」へ派遣し、院生・学部生に向けて特別講義を行いました。

詳しくは：<https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/jcrees/summer2025.html> をご覧ください。

(事務局)

2025年8月に、本学会からの派遣講師として JCREES 主催の「スラブ・ユーラシア研究サマースクール」に参加しました。院生・学部生が北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターに集まり、講師のみならず学生自身も報告をします。研究と交流の貴重な機会となる有意義なプログラムでした。（安達祐子）



事務局からのお知らせ（会員情報の変更について）

学会からの連絡や刊行物の送付を確実にを行うため、Eメールアドレス・所属先・住所等に変更が生じ場合には、速やかに学会事務担当（adm[at]jacesweb.com [at]を@に変更してください）までご連絡ください。正確な会員情報の管理にご理解とご協力をお願いいたします。

（事務局）

事務局からのお知らせ（会員情報）

訃報

井出啓二会員が2025年11月に逝去されました。当学会の発展に貢献された先生のご功績に感謝しつつ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

（事務局）

事務局だより

今号では2026年度全国大会（於：北九州市立大学）の案内を掲載しました。会員の皆様におかれましては、大会へのご参加をお願いします。また、自由論題にも奮ってご応募ください。パネルセッションのご提案も歓迎します。プログラムが確定しましたらHPに掲載いたしますので、ご確認ください。

（事務局 柳学洙・佐藤嘉寿子）

ニューズレターNO. 74 発行 2025年12月27日

比較経済体制学会事務局

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4丁目2-1 北九州市立大学
柳学洙 研究室気付

事務総括：柳学洙（北九州市立大学）

会計担当：岩崎一郎（沖縄大学）

メンバーシップ担当：佐藤嘉寿子（帝京大学短期大学）

事務局メールアドレス：

adm[at]jacesweb.com （[at]を@に変更してください）